

令和 7 年 2 月 18 日

市政記者クラブ 様

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

担当：櫻井、鬼頭

電話：950-5044

**名古屋市社会教育委員協議会からの
「新しい時代の生涯学習センター等のあり方について」
の答申の受領について**

名古屋市生涯学習センター及び女性会館は、多くの施設が築 40 年を経過し、リニューアル改修工事を行う時期を迎えています。名古屋市教育委員会は、これを機に、生涯学習センター及び女性会館に求められる機能、果たすべき役割、期待される効果など、新しい時代の要請に即した魅力ある生涯学習センター及び女性会館について検討しています。

検討にあたっては、有識者の意見を参考にする必要があることから、令和 6 年 5 月 31 日、名古屋市社会教育委員協議会に対し、「新しい時代の生涯学習センター等のあり方について」を諮問し、この度、下記のとおり答申を受領しましたのでお知らせします。

記

1 答申の主な内容

「多様な人々が気軽に集い、交流し、学び、教えあう身近な場」を実現するため、次のことに取り組む必要がある。

- ・ 誰もが使いやすい、ひらかれた身近な施設
部屋・設備の集約化、利用申込み等の電子化
- ・ 親しみやすい施設
居心地のよい環境整備、施設運営への利用者の参画、愛称等の作成
- ・ 子ども目線の重視
子どもの居場所、放課後・休日の活動の場、自習スペース等の開放
- ・ つながり、交流の場としての展開
申込み不要のイベントの定例実施、各区に 1 館ある地域密着の拠点施設
- ・ 民間企業等の積極的な参入促進
カフェやスポーツジムの導入、民間企業の講座・教室開催

※諮問及び答申全文は名古屋市公式ウェブサイトに掲載

(URL : <https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000183640.html>)

2 答申受領日

令和 7 年 2 月 14 日